

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」運営協議会

平成 26 年 5 月活動報告

活動スタッフ・アンケート結果(13 名)

あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|---|
| 男性 | 9 |
| 女性 | 4 |

あなたのメンバー区分を教えてください。

| | |
|----------|-----|
| KK2 メンバー | 5 名 |
| Web 会員 | 6 名 |
| 一般 | 2 名 |

あなたの年代を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| 20 歳未満 | 0 名 |
| 20～34 歳 | 0 名 |
| 35～49 歳 | 5 名 |
| 50～64 歳 | 6 名 |
| 65 歳～ | 2 名 |

KK2 プログラムへの参加回数を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| 初めて | 3 名 |
| 2 回～4 回 | 4 名 |
| 5 回以上 | 0 名 |
| 10 回以上 | 6 名 |

今回の活動への参加動機・目的・趣旨は何ですか。また、それに対する達成度や満足度を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 6 名 |
| よかった | 4 名 |
| どちらでもない | 1 名 |
| あまりよくない | 0 名 |
| よくない | 0 名 |
| 未回答 | 2 名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ 動機：本活動の理念に共感し、協力したいと思うから、地元の参加者から、来て欲しいとのニーズがあるから。
目的：ニーズに応えるため、大船渡などの気仙についてや、その人々に学ぶため
- ・ 自分で企画して参加している、という立場から見ると、目標に対して 60%程度の達成度か。マイナス面は、参加者が少なかったことがすべて。気仙に学ぶ、まっさきに学ぶとも、協議会メンバーになってもらい運営側に加わった女性グループ、碁石グループの活躍は良かったが、それ以外の方々、女性の方々、ふるさとの暮らしに関心のある人など、新しい参加者は思っていたより、少なかった。なぜだろう、まだ、よそ者の押しつけの感じから抜け切れていないのだろうか。内容の問題か、広報の問題か、開催日時の問題か、課題を残したのでは。あと 10 名ぐらいは参加者がいて欲しかった。

- ・ 目的：気仙・まっさきのレジリエンスを学ぶ
達成度：60% 満足度：50%
- ・ 従来と同じ活動だと思っていた。
従来通りの活動での満足度は高いが、本年度の活動内容に従っていたのかを考えるとその点を全く意識していなかったため、満足度は低い。
- ・ 被災地での活動ができるとのことで参加しました。少しでも被災地のためになるのであれば微力ながらも力になりたいとの気持ちからです。初回参加でしたので勝手が分からず戸惑うこともありましたが、場面場面では自分のできることはさせていただけだったかと思っています。また、スタッフの方や他の参加者の方の意識やスキルが高く大変勉強になりました。
- ・ 1. 参加動機 被災地支援、IT 相談、被災地からの学び、地域の人への寄り添いをしたかった
2. 目的 上記動機にかかわる現地での支援活動。プログラムの収録
3. 達成度 IT よろず相談では全 2 回で 2 名の相談対応。要望にはすべて到達。収録は全プログラムを記録完了
碁石民俗誌のヒアリングでは有用な情報、情報収集のヒント、地域の記録・保存に関する方法論等を感じ得
- ・ 動機 1：7 月に友人木谷氏の企画による「復興記念！碁石海岸で囲碁まつり」を予定していますが、その現地受け皿が碁石地区復興まちづくり協議会であったこと。また事務局を引き受けていただいた方が、及川宗夫さんであり、事前視察的意味があった。
動機 2：「気仙に学ぶ」、「まっさきに学ぶ」両方のテーマに興味があった。
動機 3：今まで被災地支援の現地活動がどうしてもできなかったため、この機会にぜひと思った。
達成度および満足度：極めて高い。とくに動機 1 の目的を大幅に超えて、人口過疎地の「公民館」の役割、機能、今後のあり方などに関する問題意識をもてたことは、大きな収穫となった。
- ・ 東日本大震災の実働型復興支援への参加機会を得たかったこと。〈とてもよかった〉
ITC と復興の関係について現実を確かめたかったこと。〈よかった〉
物理的な街並み、仮設本設の住宅、現地の方々の心境など被災地の今を知りたかったこと。〈あまりよくない〉
支援活動者の実態を知りたかったこと。〈どちらでもない〉
- ・ 末崎地区住民とのコミュニケーション
ボランティア仲間との交流
日常の業務からの逃避行
- ・ 当初は伊藤さんの長洞村の素晴らしいコミュニティについて投稿で知ったのがきっかけでこちらに誘っていただきました。長洞村視察はスケジュールになかったものの、現地でスタッフの方のご提案で村を見ることができました。また、村の村上さんから直に報告も聞けて大変良かったです。「PC よろず相談」では末崎町の方々と交流しながら具体的にできることが増えて帰られたようなので、成果としては想像した以上でした。
- ・ 世代・地域を超えた体験学習の場として。
- ・ 東北復興応援・地域振興に関する今までとは異なる主催者のプログラムに参加することで、今後の復興応援への関わりを見つめなおす。⇒満足した。特に国の助成金での活動という事で成果に対する責任の重さも感じた。
何度も訪れた末崎町の住民の方々との交流を深める。⇒2 日間を通して個人的な会話もできほほ期待通り。
参加者相互の交流を深めて人脈を広げる。⇒期待通り。
- ・ 前年度からの活動の継続と新たな枠組みとなった新年度の内容に興味があった。

PC ネットよろず相談についていかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 4 名 |
| よかった | 7 名 |
| どちらでもない | 1 名 |
| あまりよくない | 0 名 |
| よくない | 0 名 |
| 未回答 | 1 名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ - ICT スキルの低い人も相談スタッフになっている
 - 対応の品質にバラつきがあり、ICT リテラシーやモラルの低いスタッフにあたった人が、良いとは言えない対応を受けている
例) - facebook で名前変更が行われた
変更は不要と思われるニーズだった。また、fb の名前変更は回数制限があり、気軽な名前変更は好ましくない。
 - メールソフトでメールの送受信が出来なくなった
間違ったメールサーバーが設定されていた。

改善案

- スタッフ募集要項に必要な ICT スキルを明記する
- スタッフ選考条件を策定する
- PC よろずスタッフと、学びプログラム参加希望者をわける。兼務しない

- ナレッジを整理しクラウドなどで共有する
- 事前ミーティングの際に最低限のトレーニングを行なう
- チームリーダーをアサインする。無理に適当に対応させず、難易度が高いニーズはチームリーダーが対応する。振り返りやナレッジ共有の場で対応内容の共有を行いスタッフの ICT リテラシー向上を目指す
- ・状況がつかめていないが……。夜の部、2, 3人しか来ないのではないかと心配していたが、まずまずでした。
- ・参加者から見ると、教える人が毎回変わる。
 - その為伝えることがバラバラで、参加者が身に付けたスキル・知識がわからない。
 - 例えば facebook を教える場合、具体的に何を伝えるのか？
 - スキル・知識をリストアップし、教える人がカルテを書くことが必要である。
- ・新しいボランティアが加入したことで、常連のボランティアの刺激になったのか(?), 積極的に活動に参加していて、とても良かった。見学で参加した若者にも積極的に関わることが出来、本人の自信につながり感謝している。
- ・来場された方が自分でできるように配慮し、操作は極力ご自身で行っていただきました。さらに操作が定着できるように同じ事を何度か繰り返し行っていたいただき、自宅に戻ってもご自身でできるように配慮しました。ほぼ PC の操作は初めてという方もいらっしゃいましたが、他の参加メンバーに助けられながらサポートすることができたと思います。
- ・参加メンバーの知識・スキルの実用性が高く、相談者の質問に困ることはなかったという印象を持った。
- ・今次活動のように、次回以降も次のようなスキルの人たちがメンバーであれば良いのではないかと。
 - ・PCメンテナンス ・ワード、エクセル、PPT ・デザインワーク ・SNS ・PC アクセサリー ・レタッチ ・ビデオ編集
 - ・スカイプなどの遠隔メディア ・タイピング ・セキュリティ ・ネットリテラシー ・ハガキソフト ・名刺作成
- ・パソコン指導に関しては、ブログ講習会とよろず相談に分かれた講座構成となっておりますが、パソコン個別指導一本の方が実態に合うように思う。課題は、今後参加人数をどう増やしていくか。
 - 始まりと終わりがはっきりしないで、何となくといった感じをなくすために、とくに終了時にどんな相談があったかを参加者全員で共有する。「こんな相談があった」報告は、「そんなこともできるのか」といった PC への理解、友人たちへの参加誘いの機会につながる。
 - 今回の参加人数には、講師数もちょうどよい結果となったが、今後増えてきた場合には、事前に講師レベル配 置は必須。PC 指導レベル初中高（本人の指導希望も含め）把握する必要あり。従い受付後、相談内容により講師割り振り。
- ・支援活動を I T C に絞っているのは効率的でいいと思います。事前に伺っていましたが、I T C のプロを確保しても、ニーズ自体のレベルが専門的でなさそうですから、程々のスキルと一緒に考えてあげるスタンスがポイントだと感じました。ただ、現地の生活をもっと想像して、こういう場面で I T C が使える、使うと便利、楽しい、という提案をして、試行錯誤をする余地もありそうです。普段の公民館活動ももっと知りたいです。
- ・今回導入したカルテは非常に良いと感じた。
- ・私は Excel をほぼ使った事がないので、具体的な操作について他のメンバーの方のご協力がなければお役に立てないと感じました。自分でももう少し使えるようにしておく必要を感じました。個人的に担当の方が完全に初心者だったので、電源を入れて切るまで、文書を書くソフトを立ち上げて入力、変換、保存して終了するまで等、キーボードやアイコンを絵で説明しながら、復習用に手書きの手順を説明したものをお渡ししました。
- ・マンツーマンでは、やり方、教え方に癖が出るように思える。副担当を設けることで、担当が変わっても一貫した指導が行えるように出来ないか。例えば、ベテラン+初参加者のように2名一組とすれば、質が上がるのでは？
- ・どんなスキルの方がいつお見えになるかわからず、緊張した。
 - 大半の来場者が顔見知りのお客だったが、もっと初参加の方が多くても良かったと感じた。
 - 地元での広報に力を入れたほうが良いと思う。(チラシを配る仮設住宅の範囲を広げるなど)
- ・セキュリティやポスター作り、エクセル入門など、ミニセミナーも定期的に入れ込むと新たな層が参加しやすくなるかもしれません。また、どういう趣旨で IT 支援をしているのか(地元コミュニティ運営の円滑化など)も伝わりやすくなるかもしれません。

気仙に学ぶ！“長洞元気村なでしこ会暮らしづくりと I T 活用を学ぼう”についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 6名 |
| よかった | 7名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・被災から現在までの状況や、ICT ツールの活用事例がわかりやすかった。
- ・なでしこ会の村上陽子さん、戸羽八重子さんのコンビによるプレゼンとお話、とても良かった。熊谷君子さんの司会進行、とても上手で会場の雰囲気や和らげ、盛り上げました。また、なぜ元気村の IT 活用が進んだのか、本当のところを皆さんに知っていただくことができたように思います。古賀さんのスピーチ、藤田さんのスピーチ参加者にも自分たちにも良かったのでは。真剣で一生懸命なところに支援も集まるのですが、それは情報を生かすかどうかによる。ということで、まっさきの方々の腑に落ちた部分は多かったと思いますが、期待している化学反応を起こしてもらうには、次は長洞元気村訪問交流か、同様に他地域の女性グループを引っ張ってくるとか考えなければ・・・などと思索してます。
- ・教える人と、学ぶ人、というスタイルではなく、

二つの地域・集落の女性リーダー達が車座になって、共に考え、共に学ぶスタイルがとても良かった。

- ・ 君子さんの司会がとっても上手だった。"IT 活用"を意識して進行して下さったので、本活動の中で行う学びにふさわしい内容になった。
- ・ 有名な長洞元気村のなでしこの方々のお話が聞けて大変感激しました。地域としてまとまっており、住民の方々の意識も全般的に高いのが成功の秘訣だと感じました。逆に他の地域で同様の展開をするのは難しいと感じました。他の地域は仮設団地のコミュニティーを作る必要があったり、引きこもりも多かったりと聞いています。
- ・ 発表自体は、既知の内容だったが、本活動によって、長洞元気村、まっさきの住民が交流できる機会を作れたことは、復興を目指す地域にとってたいへん意義のあることだったと思う。
- ・ - 驚くほど話慣れている感じで、原稿なしに 2 時間を埋める力量に驚く。進行役も主宰者側からではなく、地元人としたことはよかった。ただし、指名発言だけではなく、会場全員からの意見、質問を問い、フロア一体感の演出がなかったのは残念。よそ者からの発言も講演者、聴衆双方に新鮮であり、気づきが多いのではと思う。
 - 長洞の「元気」の仕掛けが“人”によることが大きいのは分かったが、今後他の仮設住宅へ波及、浸透させるための工夫は必要。共感、共鳴する雰囲気づくりが少々足りない気がする。
 - 翌朝、車で長洞元気村を確認できたのはとてもよかった。実際に場に足を踏み入れてみるのが原点であることを再認識。(久保田さん、ありがとうございました。)
 - 注目度が高い長洞仮設住宅の暮らし、それを支える IT 技術は、今後ひとつのモデルケースになりうる。簡単な冊子をつくり、情報の広範囲な拡散がもたらす効果を試みたい。今回イラストレータもいらっしやり、即プロジェクト化も可能では。
- ・ トークが実に滑らかでした。映像記録を各地に配信することが予定されていると思いますが、今回現地で他地区の「なでしこ風活動」を紹介していたらどうだったでしょう。もちろんそのためには他地区の取材活動が必要ですがそういう遠隔地情報を共有するのも悪くないように思います。
- ・ 良く知っている元気村なので、どのような講話が聞けるか期待していた。自身が携わったML も物（携帯）は変われど、現在もコミュニティの手段として利用している事に、ボランティアをして良かったと感じた。末崎にも残る事をしたいが、Web メール、公民館ページ等があるので、何か探せたらと思う。
- ・ 村上さん戸羽さんのお話で、携帯から始まった IT 使用で村の活動が無理なく、しかも全員参加が必然になるよう工夫されていた様子、それぞれの段階にキーマンがいること、普段から「この人の言うことなら」というリーダーへの信頼関係があったことなど・・・が理想的に機能している様子が生き生きと伝わりました。進行がお話の慣れた町民の方であったのがまたスムーズでとても良かったと思います。
- ・ 現地の方とスタッフ、共に考える機会となり、大変良かった。司会がうまく、講師のお話だけでなく、質問者からも面白いお話を伺えました。もう少し、まっさきの方が多く参加していただけるよう、告知を考えたい。
- ・ 長洞元気なでしこ会の活動が良く理解でき興味もわいた。現実には村の規模がちょうどよい大きさなのが良好なコミュニティが保たれている秘訣かと感じた。首都圏で災害発生時にどう生かすかを考えさせられた。活動を任せてくれる村長・旦那様の理解があるから自分たちが活動できている、という話はぐっと来た。
- ・ 地元の方の仕切りとなった面は徐々に活動をバトンタッチしていくという本来の趣旨から考えて良かったと思う。地域間の交流という意味でも、末崎の方の仕切りは良かった。導入においての紆余曲折も深められるとなお参考になったかもしれない。

まっさきに学ぶ！ “ふるさとの記憶をたどる「ごいし民俗誌」から”についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 3名 |
| よかった | 6名 |
| どちらでもない | 1名 |
| あまりよくない | 3名 |
| よくない | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ 虎舞、獅子舞のルーツや、つながっている芸能について知ることが出来た。民俗誌というより、芸能誌かと思いました。
- ・ 講師のお話しは、参加者の期待度に対して、物足りなかったと思うのですが、これが実現できたこと自身はたいへんなことだと思っています。暮らし続ける人たちのよりどころやまちづくりを考えたり、進めていく上で、「ごいし民俗誌」を題材にした繋がりづくりに期待したい。こんなことがあるなんて恵まれているだ。先祖からうけついで歴史や文化、暮らしを未来に繋げられるのは自分たち自身なんだ。東京文化財研究所やデジタル公民館まっさき活動は、それを後押ししてくれるかもしれないが、自分たちが協力してやろう、というふうにならないと、思い始めていただき、さらに背中を押す企画を考えたい。
- ・ 気仙語が聞きとれなかったが、郷土を愛する皆さんの熱意は素晴らしい。住民の方同士の話し合いの時間をもっと多く取った方が良かったと思う。
- ・ - 前半の講義内容が、一般的な民俗学になっていたため、不要だった or もっと短くて良かったように思う。おそらく人選ミスか日程の関係という点は理解できるが、そうであれば打ち合わせで時間配分を調整すべきだったのではないかと。
 - 後半は、地元の方が活発に意見を言える場になり、良かった。ただし、外者がうまくからめなかった。このセッションでの外者の関わり方が次回の課題か？
- ・ 講師の方の話はどちらかというと得意とされている神楽などの話題が中心でしたが、個人的には興味があるテーマでした。その後、住民の方から寄せられた様々なエピソードは大変興味深く、お話を実際の場所を確認したいと感じました。その土地にも関心や愛着が湧くので、活動だけでなくこのようなエピソードも伝えられると関心を持った方が多く訪れてくれると感じました。

- ・ 民俗情報の取材現場に立ち会いができて感激をした。特に高齢者本人からではなく、高齢者の祖父・祖母から聞いた話は、たいへん貴重な情報であったと思う。わずか100年ほどの間に様々な変遷があって現在の姿になったことが実感できた。
- ・ 事前資料をいただき今回、一番期待した講座であったが、全体構成がよくなかったように思う。内容、時間配分に問題あり。地元からの声、その反映の仕方のバランスが悪かった。聴衆はだれなのか、地元民、よそ者、当事者・・・、あいまいなまま進んでしまった。講師の専門分野の説明に時間をかけた結果、長く待たされたインタビュー対象者の生の声をとる時間とその反映や、意見の消化ができずに終わったように思う。
- ・ 全く知らない世界の話でしたが個人的には好きな分野なので楽しく聞きました。特に気仙大工の項は、往路で沿道の住宅で屋根形状が印象的でした。ただ、これは歴史の問題だけではなく現在の建築技術の話でもあるので、このような特徴的な建築がいかに技術やコスト、住み心地上難題であるのかないのかあたりにも触れると、普通の人にも楽しさが倍増するでしょう。配布用コピーは綴じ方がたいへんNGでした。
- ・ 碓石地区の話では、かなりのやり取りがなされたが、方言が強く解らない部分もあった。
KK2のサイトにアップする際に、テロップ等で標準語が流れるとうれしい。
今回の資料に屋号など学ぶことのできる教材で良かった。
気仙に学ぶ/末崎に学ぶ は毎回楽しみにしています。
- ・ せっかく土地の生活に根ざした屋号などの興味深い資料があったのですが、あまり碓石特有の研究に基づいたお話でないように感じました。研究者の先生が碓石民俗誌の資料を作った方ではないというせいもあると思います。最後の方の末崎の住民の方々のお話が面白いと思いました。例えば気仙大工の仕事なら、実際に建物を見ながらどこが優れた技術なのか、散策しながらの講話など面白いのでは？と思いました。
- ・ 現地やスタッフの興味と、講師のお話の内容を詰められず、ミスマッチで結果的にもつたいない機会となった。途中話を軌道修正する役回りが必要だったかも。ただ、次回以降につながる場となったのが良かった。
- ・ 講演は大きく三本立てだったが、最初の1時間は主題と異なる部分も多く、20分程にコンパクトにさせていただけたかった。講演内容の事前調整が課題か。
- ・ 後半の末崎町の民族誌を編纂するための情報交換の議論の場は有益だった。町民に共通の目的ができその編纂に向けて一致団結していける事が良い取り組みになると感じた。
- ・ マイク係を当日仰せつかり、途中交代などを提案しようと考えたが、ボランティアは仕事を選ばない、与えられた仕事は愚痴らず引き受ける、が信条なので素直に応じた。だが1時間のあいだ、せっかくの民族誌を読めずにマイクを向け続けるのは気持ち的にも肉体的にもつらかった。実際にはあのような討論の場になるとわかっていながら無指向性マイクを用意すればよかったと思う。
- ・ 岩手県全般の民俗学について、興味深い事例が多かった。しかし、事前告知と比べると「ごいし記念誌」についてのパートが少なく多少ミスマッチを感じた。配布資料は一級品のものと思うので、今後も、地元の製作に関わった人などとのシリーズ化も良いのではと思った。

また参加したいと思いますか？

| | |
|-------------|----|
| ぜひ参加したい | 9名 |
| 参加したい | 3名 |
| どちらとも言えない | 1名 |
| 参加したくない | 0名 |
| まったく参加したくない | 0名 |

備考・自由記入

- ・ 応えにくいですが、花が咲くかどうかは?としても、種まき続けなければ、と思ってます。
- ・ 自分が参加するにあたってのきたいされている役回りを事前に説明してほしい。私だけが知らなかったのかもかもしれませんが・・・。
- ・ 「公民館活動」を改め見直し、考える機会となった。とくに被災された方々の生活を支えるインフラとしてITの利活用が彼らの自立を促し、精神面に深く影響する力があることを教えられた。意義ある活動を肌で感じ、経験できた今回の参加は、そのきっかけとなる大変意義深いものであった。深く感謝しております。
- ・ マンツーマン対応の活動を原則にするのであれば、メンバーに地元旧知の顔ぶれが多い方がいいでしょう。
- ・ 継続的に訪問しコミュニティを深めることにより、に大きな付加価値が提供できると考える。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 5 月活動報告

PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果 (回答 11 名)

| | |
|-------------------------|------------------------|
| 6月17日(土) 19:00~21:00 | 5月18日(日) 9:00-12:00 |
| 7名 | 8名 |

あなたの性別を教えてください。

| | |
|-----|----|
| 男性 | 4名 |
| 女性 | 6名 |
| 未回答 | 1名 |

あなたの年代を教えてください。

| | |
|--------|----|
| 20歳未満 | 0名 |
| 20~35歳 | 0名 |
| 35~49歳 | 1名 |
| 50~64歳 | 2名 |
| 65歳以上 | 7名 |
| 未回答 | 1名 |

末崎活動(PC、竹とんぼ、寄席、音楽会、映画会等)への参加回数を教えてください。

| | |
|-------|----|
| 初めて | 2名 |
| 2~4回 | 3名 |
| 5回以上 | 2名 |
| 10回以上 | 4名 |

お住まいはどちらですか？

| | |
|------|----|
| 末崎町内 | 8名 |
| それ以外 | 2名 |
| 未回答 | 1名 |

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 8名 |
| よかった | 1名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 2名 |

また参加したいと思いますか？

| | |
|-----------|----|
| ぜひ参加したい | 9名 |
| 参加したい | 0名 |
| どちらとも言えない | 0名 |
| 参加したくない | 0名 |

| | |
|-------------|----|
| まったく参加したくない | 0名 |
| 未回答 | 1名 |

今回のプログラムを何で知りましたか？(複数回答)

| | |
|--------------------|----|
| KK2のWebサイト | 1名 |
| メルマガ・DM | 0名 |
| 看板・チラシ | 0名 |
| 友人・知人経由 | 1名 |
| デジタル公民館まっさきのWebサイト | 1名 |
| 前回参加した | 2名 |
| フェイスブック | 3名 |
| 館報まっさき | 5名 |
| その他(公民館で見た) | 1名 |

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ パソコンをマンツーマンで教えていただける素晴らしい機会をいただき、大変有難うございます。また、受けたいのでよろしくをお願いします。
- ・ 親切に教えられ、とても楽しく勉強させていただきました。ありがとうございます。
- ・ 詳しく教えて下さいありがとうございました。
- ・ 今回はICレコーダーを教わりました。私にとって大変必要な内容でしたので大いに助かります。分かり易くご指導いただき有難うございました。次回を楽しみにしております。

ご自宅でパソコンは持っていますか？

| | |
|--------|-----|
| 持っている | 10名 |
| 持っていない | 0名 |
| 未回答 | 1名 |

ご自宅にインターネット回線はありますか？

| | |
|-----|----|
| ある | 9名 |
| ない | 1名 |
| 準備中 | 0名 |
| 未回答 | 1名 |

普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

| | している事 | 覚えたい事 |
|------------|-------|-------|
| インターネットの閲覧 | 8名 | 1名 |
| メール | 7名 | 0名 |
| フェイスブック | 6名 | 1名 |
| ブログ | 2名 | 1名 |
| ホームページ作成 | 2名 | 3名 |
| 文章作成 | 7名 | 1名 |
| 写真保存 | 6名 | 0名 |
| 計算ソフト | 4名 | 1名 |

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 5 月活動報告

「気仙に学ぶ！」長洞元気村 なでしこ会の暮らしづくりと IT 活用を学ぼう(平成 26 年 5 月 17 日)

現地参加者アンケート結果

現地参加者：15 名(内 10 名回答)

あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|-----|
| 男性 | 7 名 |
| 女性 | 3 名 |

あなたの年代を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| 20 歳未満 | 0 名 |
| 20～35 歳 | 1 名 |
| 35～49 歳 | 0 名 |
| 50～64 歳 | 3 名 |
| 65 歳以上 | 6 名 |

お住まいはどちらですか？

| | |
|------|-----|
| 末崎町内 | 9 名 |
| それ以外 | 1 名 |

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 5 名 |
| よかった | 3 名 |
| どちらでもない | 0 名 |
| あまりよくない | 0 名 |
| よくない | 0 名 |
| 未回答 | 2 名 |

今回のプログラムを何で知りましたか？(重複回答)

| | |
|---------|-----|
| 館報まっさき | 5 名 |
| 友人・知人経由 | 4 名 |
| チラシ | 1 名 |
| インターネット | 2 名 |

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- これからは長洞地区の方々と交流し、末崎地区の復興のモデルを作っていきたい
- 私達もこの様な仮設の様子でした。ただ、お客様が来た時はなかなかお金にはなりません。取れません。なぜならたくさん支援を頂いているので、IT まではまだまだです。
- ケータイの一斉メールのお話は大変良かった
- 長洞元気村のことは色々本などで見ていましたが、これほど一生懸命に活動していることを聞いて本当に驚きました。
- 活き活きと活動している様子が伝わります。今後、更に発展していくことを記念いたします。
- 家族もバラバラ、心もバラバラの世界、皆まとまって見えるけど 1 人になると不安材料いっぱい。どうしたら心と心がつながるのか現在の段階では見当たらない。仮設住宅の中でジーとしている人達がいっぱいいる。自己孤独状態、引っ張りだそうよ皆で。
- 自発的に様々な活動に取り組まれていることはとても素晴らしいことだと思います。私が勤務している町では中々そのような活動をする方がいけませんので、今回の講演を参考に自分たちに何が出来るか考えます。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 5 月活動報告

「まっさきに学ぶ！」 ふるさとの記憶をたどる 「ごいし民俗誌」から(平成 26 年 5 月 18 日)

現地参加者アンケート結果

現地参加者：17 名(内 14 名回答)

あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|------|
| 男性 | 11 名 |
| 女性 | 3 名 |

あなたの年代を教えてください。

| | |
|---------|------|
| 20 歳未満 | 0 名 |
| 20～35 歳 | 0 名 |
| 35～49 歳 | 1 名 |
| 50～64 歳 | 2 名 |
| 65 歳以上 | 11 名 |

お住まいはどちらですか？

| | |
|------|------|
| 末崎町内 | 12 名 |
| それ以外 | 2 名 |

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 9 名 |
| よかった | 3 名 |
| どちらでもない | 0 名 |
| あまりよくない | 0 名 |
| よくない | 0 名 |
| 未回答 | 2 名 |

今回のプログラムを何で知りましたか？(重複回答)

| | |
|---------|-----|
| 館報まっさき | 7 名 |
| 友人・知人経由 | 4 名 |
| チラシ | 1 名 |
| インターネット | 2 名 |

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ 大変、有意義な時間を過ごすことができました。碓石地区の昔の様子を伺いし、幼少期の生活を思い出すことが出来ました。
- ・ まだまだ発掘していない「タカラ」がありそうです。東京文化財研究所の先生方には今後とも宜しくお願いいたします。また、デジタル公民館まっさきにおいてもこのような機会を設けることを希望します。
- ・ 地元民ながら気仙語はわからなかった
- ・ 知っているところ協力したいと思います。
- ・ 暮らしの記憶を残すために大変貴重な冊子「ごいし民俗誌」素晴らしいと思いました。
- ・ ごいし民俗誌の発刊のを中心に話をすすめるのかと期待していたが期待はずれ、また講師先生が実際に聞き取りなどしていない。直接携わった人のお話を期待して参加したが残念である。
- ・ 「ごいし民俗誌」の内容が素晴らしい。ホームページで大いに PR しよう。
- ・ 虎舞を考える参考になりました。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 5 月活動報告

「気仙に学ぶ！」長洞元気村 なでしこ会の暮らしづくりと IT 活用を学ぼう(平成 26 年 5 月 17 日)

現地参加者アンケート結果

現地参加者：15 名(内 10 名回答)

あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|-----|
| 男性 | 7 名 |
| 女性 | 3 名 |

あなたの年代を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| 20 歳未満 | 0 名 |
| 20～35 歳 | 1 名 |
| 35～49 歳 | 0 名 |
| 50～64 歳 | 3 名 |
| 65 歳以上 | 6 名 |

お住まいはどちらですか？

| | |
|------|-----|
| 末崎町内 | 9 名 |
| それ以外 | 1 名 |

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 5 名 |
| よかった | 3 名 |
| どちらでもない | 0 名 |
| あまりよくない | 0 名 |
| よくない | 0 名 |
| 未回答 | 2 名 |

今回のプログラムを何で知りましたか？(重複回答)

| | |
|---------|-----|
| 館報まっさき | 5 名 |
| 友人・知人経由 | 4 名 |
| チラシ | 1 名 |
| インターネット | 2 名 |

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ これからは長洞地区の方々と交流し、末崎地区の復興のモデルを作っていきたい
- ・ 私達もこの様な仮設の様子でした。ただ、お客様が来た時はなかなかお金にはなりません。取れません。なぜならたくさん支援を頂いているので、IT まではまだからです。
- ・ ケータイの一斉メールのお話は大変良かった
- ・ 長洞元気村のことは色々本などで見ていましたが、これほど一生懸命に活動していることを聞いて本当に驚きました。
- ・ 活き活きと活動している様子が伝わります。今後、更に発展していくことを記念いたします。
- ・ 家族もバラバラ、心もバラバラの世界、皆まとまって見えるけど 1 人になると不安材料いっぱい。どうしたら心と心がつながるのか現在の段階では見当たらない。仮設住宅の中でジーンとしている人達がいっぱいいる。自己孤独状態、引っ張りだそうよ皆で。
- ・ 自発的に様々な活動に取り組まれていることはとても素晴らしいことだと思います。私が勤務している町では中々そのような活動をする方々がいませんので、今回の講演を参考に自分たちに何が出来るか考えます。